学校番号	304

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 A	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史 A」現代からの歴史　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・諸資料に親しみ，歴史的思考力を養う。
・グローバル化の進展の中から生まれる「世界からのまなざし」を対話という形で受け止める。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を理解し，現在の日本の姿をとらえる。

2　学習の到達目標

日本の歴史の展開を，総合的に考察させ認識を深めることによって，歴史的思考力を培い，国際社会で主体的に生きる資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本史への関心と意識を高め,意欲的に探求する	日本の歴史の展開･文化と伝統の特色について,事件の生起順や資料から歴史的事項を読み取って，多面的･多角的に考察している。	トピック・テーマについて，画像・地図を読み取り，レポート図表や解説パネル作成などで自己解説する。	日本の歴史，近現代史を国際的視点からも理解できる知識とする。
評価方法	ワークシート レポート 〔主題学習〕 ディスカッション	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 卒業レポート 〔主題学習〕 ディスカッション

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代日本の形成	・明治維新 ・新政府の改革 ・立憲国家の成立	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a. 日本の近現代史を明治維新も含めて学び，意欲的に探求する。 b. 歴史内容の考察理解。新政府の版籍奉還，廃藩置県，四民平等，徴兵令公布，秩禄処分，地租改正，殖産興業などの政策の意味を歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c. 資料・史料の読み取り。徴兵告諭などの史料を正しく読み，明治新政府がめざした近代化の方向性を考察している。 d. 理解内容，課題をも表現できる。四民平等，徴兵令の公布，秩禄処分について学び，国民皆兵や殖産興業の実現と身分制度改革の関連について理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
2学期	東アジア世界の変動・日本	・日清戦争と近代社会確立 ・日露戦争と帝国日本	○ 	 ○	○ ○	○ ○	a.　日清・日露戦争の背景経過から意欲的に学ぶ。日清戦争前後の国際関係への関心を高め，日清戦争にいたる経緯や日清戦争の展開，戦後の日本や東アジア情勢について調べ，日清戦争が日本，清，朝鮮との関係やそれぞれの国の政治や経済，社会にもたらした変化を追究しようとしている。日露戦争前後の世界と日本への関心を高め，日露戦争にいたる経緯と，帝国主義の広まりが 20 世紀初頭の国際情勢にもたらした変化を追究しようとしている。 b. 内容の考察と理解。国際情勢の観点も把握。日清戦争が日本の政治や社会に与えた影響を，国民意識形成の視点から歴史的に考察し，地図上の位置から各事件内容を指し示したりすることで，考察したことを適切に表現している。 c. 資料の読み取り。日清戦争の時期の写真資料や絵画資料から必要な情報を読み取り，日清戦争やその影響について考える材料として活用している。 d.　帝国主義の時代に，日本が朝鮮への影響力を強めようとして朝鮮政府や民衆の反発を受けるとともに，清とも対立した過程を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

2学期	二つの世界大戦と日本	・第一次世界大戦と帝国日本 ・政党政治の時代	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a. 第一次世界大戦の背景経過から意欲的に学ぶ。第一次世界大戦前後の時代への関心を高め，第一次世界大戦前後の世界の動向や日本の社会，経済について意欲的に調べ，大日本帝国の広がりやその中における人々の移動の規模や実態をふまえて，大日本帝国の実態を追究しようとしている。 b. 内容の理解と考察。諸課題も的確に理解。第一次世界大戦後の国際協調の動きについて，自国の権益維持を目指す列強の思惑と，各地の民族自決をめざす運動の広がりとの関連に注目して，歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c. 第一次世界大戦前後の時期の複数の歴史地図を分析し，国際情勢の変化を示す情報を読み取っている。様々な写真資料から，第一次世界大戦やその時期の日本や中国，朝鮮の状況を示す情報を読み取り，日本の国際的地位の変化を考察する際の材料として活用している。 d. 米騒動後に成立した本格的な政党内閣は，国際協調を目指す英米に協調して，軍縮を進め，こうした潮流にあった世界情勢を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
3学期	二つの世界大戦と日本	・軍国日本への道 ・太平洋戦争 ・第２次世界大戦後の国際社会と日本 ・現代の社会と日本	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a. 1920～30 年代の日本への関心を高め，軍国主義化が進展する経緯，日本をめぐる国際情勢の変化について意欲的に調べ，満州事変，日中戦争の原因やそれらが日本や世界に与えた影響について考察を深めようとしている。太平洋戦争への関心を高め，太平洋戦争にいたる経緯や戦争の展開，戦争下の人々の生活などについて調べ，第二次世界大戦が未曾有の被害をもたらした要因を追究しようとしている。 b. 満州事変・日中戦争・第２次世界大戦に対する国民の反応と国際社会の動向を歴史的に考察し，資料年表や写真からの理解を適切に表現している。 c. 第２次世界大戦の敗戦その後の国際社会の展開変動を多面的に把握できているか，さらにその変動の中で戦後日本の位置方向がとらえられているか。世界地図・年表からその動向を読み取れているか。 d. 高度経済成長以後の日本経済の変遷が各種資料で読み取ることができるか。	ワークシート 卒業レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。